

## 議員質問への対応調書

整理番号 021203

令和2年12月定例会	会派名	会派新生		担当部	企画推進部
	議員名	上杉 栄一		担当課	文化交流課
質問・答弁月日	12月 8日				
質問形態	代表	関連	(各個)		(追及)
質問事項	本市の文化・芸術のまちづくりに関連して 公共施設再配置基本計画と文化施設整備の整合性について				
<p><b>【質問要旨】</b>  中期計画として、新たな文化施設の整備を検討する必要があると考えるがどうか。</p>					
<p><b>【答弁要旨】</b>  本庁内会議における検討を行う中で、今後の文化施設の再編に係る基本的な方向性についても整理を行っています。現時点における基本的方向性としては、「①統廃合・複合化による総量の削減」、「②全市的な観点による再配置」、「③市有以外の施設も含めた機能分担による効率化」、「④バリアフリーに配慮した施設整備・運営」、「⑤民間の資金やノウハウの活用による施設整備・運営」などを挙げているところです。  仮に新たな施設を整備する場合、既存施設を統廃合することにより総延床面積を削減することで、将来に向けての建物の更新経費や維持管理費を縮減することや、複合化や多機能化により、より多くの人々が集まる場（拠点）とすることで賑わいを創出することが必要であると考えます。今後、検討を進める中で、中期的な観点も踏まえ、文化施設の再編に係る基本的な方向性や具体的方策を取りまとめていきたいと考えます。</p>					
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		<b>対応済</b>			
<p><b>■対応方針</b>  「鳥取市公共施設再配置基本計画」に掲げる公共施設の総量削減目標などを踏まえ、本市の文化施設の再編に係る方策の取りまとめに向けて検討を進めます。</p>					
<p><b>■進捗状況</b>  ホール等文化施設のあり方に関する検討委員会（外部検討委員会：構成員8人）を令和4年8月に設置し、文化施設のあるべき姿について、全市的かつ幅広い観点から検討を行い、令和5年5月に市に対して提言書を提出していただきました。  令和5年6月、提言書を基本とした市の基本方針について市民政策コメントを実施し、令和5年度中に市の基本方針を確定することとしています。</p>					
更新日：令和5年10月16日					